荒尾市民病院
- Arao Municipal Hospital -
市民を愛する　市民に愛される　病院へ
地域医療連携だより
小岱
第21号（平成24年4月発行）
〒864-0041　熊本県荒尾市荒尾2600
相談支援センター　地域医療連携室
TEL　0968-63-1115（代表）（内線536）
FAX　0968-62-4543
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ　www.hospital.arao.kumamoto.jp/
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　bsn@hospital.arao.kumamoto.jp

放射線治療センター開設のお知らせ

阪口荒尾市医師会長

大屋教授

前畑荒尾市長

大嶋管理者

現在、がん治療では、手術、抗がん剤治療、放射線治療が三大治療として確立され、がん治療の中心となっています。放射線治療の利点として、臓器をもとのまま温存することが可能であり、患者さんの負担が少なく治療の前と同じような生活をすることが可能な治療手段であることです。

日本で放射線治療を受けた患者様の数は十年間で約2倍に増加しており、高齢化社会となる今後は更なる増加が予想されています。

放射線治療装置本体は熊本大学附属病院で稼働しているものと同一の諸元になります。3種類のエネルギーが選択可能であるX線や、放射線治療装置に備わるCTなどを利用することによって、より治療効果が高く、侵襲が低い放射線治療が可能になります。

熊本県北部唯一のがん拠点病院である当院は、より質の高い放射線治療の提供を目指し、放射線治療センターを開設致しました。

なお、放射線治療科は予約制となっておりますので、開業医の先生方からの放射線治療のご依頼は、通常の紹介と同様に事前に相談支援センターへ紹介状をFAXしていただきますようお願いいたします。

新任医師の紹介

佐々木　瑠美（ささき　るみ）　産婦人科科長

石田　秀太（いしだ　ひでたか）　腎臓内科医師

吉村　仁宏（よしむら　やすひろ）　腎臓内科医師

嶋田　さやか（しまだ　さやか）　代謝・内分泌内科医師

江夏　国宏（えなつ　くにひろ）

当院の『フットケア外来』の紹介

糖尿病療養指導士　看護師　小林理恵子

荒尾市民病院では、平成20年11月より「フットケア外来」を開設し、4年目になりました。フットケア外来は、糖尿病の患者様の足の手入れを行っています。糖尿病による足病変にはタコや白癬、巻爪等の軽いものから、足潰瘍や壊疽のような重症のものまで様々です。糖尿病では神経障害や血流障害、易感染性も伴う為、一度、足病変がおこると重症化しやすく、治療に難渋し、切断に至る例も少なくありません。重篤な足病変を起こさない為に、代謝内分泌内科医師の指示の元、糖尿病療養指導士の資格を持った看護師が、ケアや指導を行っています。

【フットケア外来でしている事】

まず、神経障害や血流障害の有無をチェックし、足病変のリスク評価を行います。その後、患者様の足の状態に応じたケアを行っていきます。以下に主なケアの内容をご紹介します。

・足浴

血流促進や足の保清につながり、リラックス効果も期待できます。

・爪切り

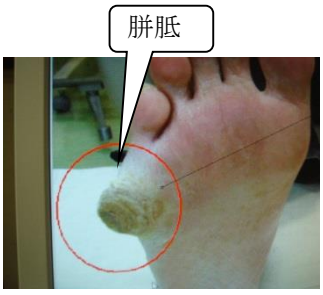
古い角質や垢は白癬菌（水虫）などの温床になります。爪周囲の角質や爪床溝の垢を取り除く事で感染を防ぎます。肥厚した爪や巻爪などの切りにくい爪も専用の道具で切っています。

・角質取り

タコ（胼胝）やうおのめ（鶏眼）は靴ずれや圧迫が繰り返される事で角質が増殖して出来ます。増殖した角質を削り、原因を除去して再発を防ぎます。

・生活指導

爪のお手入れや足を清潔に保つ方法など患者様やご家族が日常生活でできるセルフケアを指導します。



【場所】

南病棟一階　代謝内分泌内科指導室（代謝内分泌内科のとなり）

【時間】

金曜日　午前中　予約制（1日3名）　フットケア時間　30分～1時間

【受診方法】

糖尿病患者様で、フットケアを受診したい方、足のしびれや冷感のある方、爪切りが上手く出来ない方、水虫が疑わしい方は、主治医に申し出て下さい。（足の状態により、受診出来ない事や形成外科又は皮膚科受診を勧める場合もあります。）

《病院理念》

荒尾市民病院は地域住民の健康の維持増進に努め、患者中心の安全で質の高い医療の提供を目指す。

《基本方針》

1. 地域の信頼に応える急性期医療を目指し、最善の医療を提供します。
2. 地域連携を進め、地域完結型医療を目指します。
3. 患者の人権を尊重し、温かい心を持った医療人を育成します。
4. 効率的な経営管理を基本とし、健全な経営を目指します

《患者様の権利》

・あなたは、あなたの病気について必要な医療を受けることができます。
・あなたは、医療の内容について十分な説明を受け、十分な納得と同意の上で適切な医療を選択することができます。
・あなたは、医療の内容についてご自分の希望を申し出る事ができます。

がん患者リハビリテーション料について

平成22年度の診療報酬改定で、「がん患者が手術・放射線治療・化学療法等の治療を受ける際、これらの治療によって合併症や機能障害を生じることが予想されるため、治療前あるいは治療後早期からリハビリテーションを行うことで機能低下を最小限に抑え、早期回復を図る取組を評価する。」とがん患者リハビリテーション料が新設されました。昨年12月に医師、看護師、理学療法士（2名）でがん患者リハビリテーションに関する研修を終了し、本年4月よりがん患者リハビリテーションの算定を開始しました。当面は、乳がん術後の患者さん、末期がんで在宅復帰を目的としたリハビリテーションが必要な患者を対象としていきます。

地域医療連携懇親会のご案内

毎年開催しております荒尾市民病院主催地域医療懇親会を下記の要綱で開催いたします。本年も多数の皆様のご参加をお待ちしております。

なお、本年度は、4月にオープンしました放射線治療センターの紹介も兼ねまして、熊本大学医学部附属病院放射線治療科教授　大屋　夏生　先生の講演会も予定しております。

記

日　時：平成24年5月11日（金）

18：20～　講演会『（仮）放射線治療の現状と今後の展開』

講　師　熊本大学医学部附属病院放射線治療科

教授　大屋　夏生　先生

19：10～　懇親会

場　所：ホテルヴェルデ（荒尾市本井手1558　電話（0968）－66－3939

会　費：一人5，000円

※問い合わせは相談支援センターまでご連絡下さい。

編集後記

新しい年度を迎えお忙しい日々をお過ごしのことと思います。新入職員の皆様におかれましては、期待と不安の中、お過ごしのことかとお察しいたします。

私事で恐縮ですが、年度末にスタッフに迷惑をかけ、人生初めての短期間の入院、手術を経験しました。術前のMチューブも飲み込めずこんなに辛いとは思ってもいませんでした。今まで本当に患者様の立場に立っていただろうかと反省させられました。地域における役割を再認識し、少しでも患者様のお役に立てるように、この経験を今後に生かして行こうと思います。

今年度もよりよい広報誌ができるように努力してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

地域医療連携室　村上　裕子